

4月臨時会、6月定例会に提出された議案等

	番号	件名	結果
報告	第9号	損害賠償の額の決定及び和解について	—
	第10号	損害賠償の額の決定及び和解について	—
	第11号	繰越明許費繰越計算書(一般会計)の報告について	—
	第12号	繰越明許費繰越計算書(簡易水道事業特別会計)の報告について	—
	第13号	繰越明許費繰越計算書(公共下水道事業特別会計)の報告について	—
	第14号	繰越明許費繰越計算書(特定環境保全公共下水道事業特別会計)の報告について	—
	第15号	繰越明許費繰越計算書(農業集落排水事業特別会計)の報告について	—
	第16号	住宅新築資金等貸付事業に係る訴えの提起について	—
	第17号	住宅新築資金等貸付事業に係る訴えの提起について	—
承認	第1号	平成29年度香美市一般会計補正予算(第13号)	承認
	第2号	平成29年度香美市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	承認
	第3号	平成29年度香美市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	承認
	第4号	平成29年度香美市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	承認
	第5号	平成29年度香美市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	承認
	第6号	平成29年度香美市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)	承認
	第7号	平成29年度香美市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第5号)	承認
	第8号	平成29年度香美市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第1号)	承認
	第9号	平成29年度香美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	承認
	第10号	香美市税条例等の一部を改正する条例の制定について	承認
	第11号	香美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	承認
議案	第65号	平成30年度香美市一般会計補正予算(第1号)	可決
	第66号	平成30年度香美市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
	第67号	平成30年度香美市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
	第68号	平成30年度香美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
	第69号	香美市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第70号	香美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第71号	香美市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
	第72号	香美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第73号	香美市交流促進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第74号	平成30年度香美市一般会計補正予算(第2号)	可決
	第75号	香美市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
同意	第1号	副市長の選任について	同意
	第2号	教育委員会教育長の任命について	同意
	第3号	教育委員会委員の任命について	同意
	第4号	香美市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	第5号	香美市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	第6号	香美市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	第7号	香美市固定資産評価員の選任について	同意
	第8号	監査委員の選任について	同意
	第9号	監査委員の選任について	同意
発議	第2号	香美市議会業務継続計画の策定について	可決
意見書案	第5号	インボイス制度の導入を中止するよう求める意見書の提出について	否決
	第6号	真に女性が輝き、活躍できる社会の実現を目指し、セクハラを克服するよう求める意見書の提出について	可決
	第7号	安定した種子の供給のために農業競争力強化支援法第8条第4号を削除することを求める意見書の提出について	否決
	第8号	日本政府が核兵器禁止条約の批准作業を進めることを求める意見書の提出について	可決

意見書を国に提出します

今議会に提案された意見書案は4件で、2件が可決され国に提出されることとなりました。

日本政府が核兵器禁止条約の批准作業を進めることを求める意見書

広島と長崎の被爆から今年で73年目を迎えるとしています。ヒバクシャはこの間、国際政治の場で自らの体験を語ってきました。核兵器の非人道性、核爆発の凄まじさ、その悲惨さは世界の共通認識になっています。

このような長年の努力が実を結び、昨年7月、国連は、3分の2にのぼる加盟国と世界の市民団体の支持を得て、核兵器禁止条約を採択しました。

禁止条約は核兵器の違法性を明文化し、世界の核実験のヒバクシャの救済措置も明記しました。人類は核兵器廃絶に向けて歴史的な一歩を踏み出しました。

しかし、核保有国とそれに同調する日本をはじめとする国々は「核抑止力」論に固執し、これに背を向けています。

唯一の戦争被爆国として必要なことは、核兵器のない世界の実現に向けて、禁止条約を支持し、調印、批准し、世界の世論をリードすることです。

ヒバクシャの平均年齢は80歳を超えました。ヒバクシャの「生きているうちに核兵器廃絶を」の声を受け止め「核兵器のない世界」を実現するために力をつくすことが求められています。

よって、政府におかれては、核兵器禁止条約の批准作業を進めるよう求めます。

反対討論

市民クラブ 山崎眞幹議員

条約は核兵器保有国の同意が発効の条件とはなっておらず、保有国の意向や安全保障を核兵器に依存する国などの状況は無視して、「核兵器廃絶に同意せよ」と迫る形になっています。このことから、日本は条約に参加することで核廃絶に貢献するのではなく、核兵器国の核保有を永続化し、自国の安全保障も危険にさらすこととなります。政府が核廃絶に真剣に取り組み、安全保障政策を冷静に考えるのであれば、現時点で条約に参加すべきではありません。

賛成討論

日本共産党 山崎龍太郎議員

今、朝鮮半島で南北、米朝間の対話が始まり、朝鮮半島の非核化への議論が行われている中で、日本政府の「圧力」に頼る姿は異常です。朝鮮半島の平和体制、非核化を進める上で核兵器禁止条約は大いに役立つはずで、日本は核兵器使用の非人道性、悲惨さを全世界に発信できる唯一の国です。核軍縮の実質的な前進に向けて核保有国と、非保有国の「橋渡し役」をするためにも、日本政府がこの条約の批准作業に具体的に取り組んでいくべきです。

賛否が分かれた議案等に対する各議員の賛否の状況

会派	氏名	市民クラブ						自由クラブ		公明党		日本共産党			※1	※2	※3	議長		
		甲藤 邦廣	小松 孝	利根 健二	山崎 眞幹	爲近 初男	石川 彰宏	山本 芳男	村田 珠美	島岡 信彦	織田 秀幸	比与森光俊	森田 雄介	濱田百合子	山崎龍太郎	大岸 眞弓	山崎 晃子	門脇二三夫	依光美代子	小松 紀夫
同意	第5号	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
意見書案	第5号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	—	
	第6号	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第7号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	—	
	第8号	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	

会派欄の※1は「くらしと福祉を守る会」、※2は「物部会」、※3は「香美市をよくする会」。

※「○」は賛成、「×」は反対、「—」は議長につき採決に加わらず。

※意見書案第6号、第8号については、賛否同数のため議長採決により可決。